

○事業所名	児童発達支援 ジョイジョイ		
○保護者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年3月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 4
○従業者評価実施期間	令和7年2月10日		～ 令和7年3月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年4月1日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されている。	季節の行事や事業所が特色としているキリスト教の行事などを盛り込みながら、他では味わえない経験をプログラムの中に入れていく。また、こどもたちの様子を考えながら、適切な段階に取り組める活動を考えている。	今後は、個別が中心となるが、その子に合わせたプログラムを立てていきたい。
2	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われている。	基本的には、対面のペアレントトレーニングを行っているが、来所が難しい保護者に対しては、オンラインを用いたり、参加しやすい時間帯を設定している。	今年度も開催したい。できれば2～3人ずつのグループで行い、保護者が話しやすい場を設定したい。
3	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができている。	送迎時を利用したり、連絡帳やLINEを通じて意思疎通を図っている。	保護者が発信しなくても、こちらから様子を伺ったりしながら、情報共有していきたい。特に、年長児が多いので、就学に関する悩みに寄り添いたい。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がない。	この項目については、どのようにすすめていったらよいか分からないし、保護者の方々が要望しているかどうか分からない。	他事業所での取り組みなどを聞きつつ、取り入れられる事柄があれば、取り組んでいきたい。
2	きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会を設けるなど、きょうだいへの支援がされていない。	家族でイベントに参加できるクリスマス会などがあるので、その際に声掛けしたりするようにしている。	保護者より、面談時にきょうだい間の課題などを聞くことがあるので、個々のご家庭単位で事業所として関わられることを考えていきたい。
3	こどもの安全を確保するための計画の周知について。	お出かけ等のプログラムは年に1～2回ではあるが、その都度、安全計画を立てているが、周知が上手く出来ていなかった。	保護者への事前の周知を心掛けたい。